

# 湛水土中（カルパー）直播栽培特報 第2号

平成 29年 5 月  
富山市農業協同組合  
富山農林振興センター

～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

苗立後は、**浅水管理**を徹底し、初期生育の促進に努めましょう。  
5月下旬頃から、茎数は急激に増加します。**溝掘り**は**早め**に実施し、**中干し**は**適期**に開始しましょう。

## 1 出芽期以降の水管理

### ① 苗立後～6月上旬 【浅水管理】

- 朝夕かん水・日中止め水で水深3cm前後の浅水管理で生育を促進し、早期に分げつを確保しましょう。
- ※表層剥離や転び苗が目立つ場合や除草剤を散布する前に2日程度の田干しを行い、田面を落ち着かせましょう。

### ② 6月上旬までに 【溝掘り】

- 溝掘りは6月上旬までに必ず実施しましょう。
- 溝は10～15条に1本の割合で掘り、水尻としっかり連結しましょう。

### ③ 6月上旬～中旬 【中干し開始】

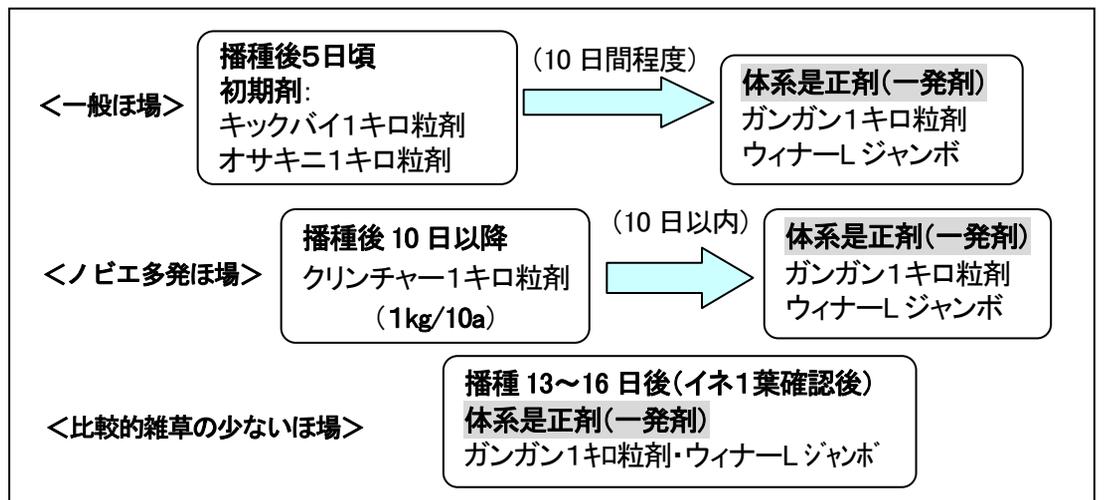
- 1m間の茎数が100本程度になったら遅れずに、**中干し**を開始しましょう。
- 土の表面に小さな亀裂が入り、田面が硬くなるまで田を干し、出穂後20日間の湛水管理に備えましょう。



写真 中干し開始時期の生育量

## 2 雑草防除

- ほ場状況に応じて、体系を選んでください（右図参照）。
- 除草剤散布時は、やや深めに水を張って散布し、散布後7日間は落水やかけ流しを行わないようにしましょう。



◎雑草が残った場合は、下表を参考にしながら、草種に応じて除草剤を施用しましょう。

雑草の種類	使用除草剤	10aあたり使用量	使用時期	使用上の注意
ノビエのみ	クリンチャー1キロ粒剤	1.5 kg	播種後25日～ノビエ4葉期 (但し収穫30日前まで)	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	クリンチャーEW	薬量：100ml 希釈水量：25～100ℓ	播種後10日～ノビエ5葉期 (但し収穫30日前まで)	雑草茎葉部に十分に薬剤が付着するように散布する（落水～浅水状態で散布）。展着剤を加用する。
ノビエと広葉雑草	カービー1キロ粒剤	1 kg	イネ4葉期～ノビエ3葉期 (但し収穫90日前まで)	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。低温(15℃以下)が予想される場合の使用は避ける。
	クリンチャーバスME液剤	薬量：1,000ml 希釈水量：70～100ℓ	播種後10日～ノビエ5葉期まで (但し収穫50日前まで)	落水状態で散布し、その後3～4日間は入水・落水をしない。展着剤不要。

## 3 葉いもち防除

○葉いもち病の発生を防止するため、予防粒剤を散布しましょう。

散布時期	薬剤名	10aあたり使用量	備考
6月10～15日	オリゼメート1キロ粒剤	1 kg	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない

～ 生産履歴の記帳と適正農業管理(GAP)に取り組み、「安全・安心」な米づくりを進めましょう ～